

(活動報告書様式)

団体名	上山市民俗行事 加勢鳥保存会		
事業名	デザインで加勢鳥と地域住人、若者をつなぐ		
助成事業区分	協働助成事業（一般型） 【県政課題：民俗芸能をはじめとした文化財に関する学びを通じた、継承の基盤強化】		
団体の 所在市町村	上山市	事業費	651,990円
		うち助成金額	499,900円

【事業目的】

この度上山市は過疎地域に認定されました。地域の高齢化は我々の住み暮らす地域でも深刻で、当保存会も例外なく高齢化が進んでおります。一昨年、ケンダイ製作者が亡くなり、このままでは何百年と続いた加勢鳥が衰退してしまい、地域に根ざした民俗芸能の学び、継承が困難になってしまいます。地域の課題を解決するためには、地域との繋がり強化や若者の積極的参加を目的とした事業が必要です。今回、加勢鳥と地域住人、若者をデザインという架け橋で繋ごうと思っております。



【事業内容】

- ① 若者に興味を持ってもらう情報発信
・加勢鳥に興味を持つデザインの発信を行いました(インスタグラム)。
・飲食店、セレクトショップなど加勢鳥を好きな店主の店に掲載していた

だき、ロコミや SNS 発信に活用いただきました。

- ・四季に合わせて様々な場所で撮影を行い、コンセプトを統一したシリーズ化のポスターやポストカードなど思わず集めたくなる物を作る。1度の撮影で複数カットを撮影し5～10年活用する。



② 地域の繋がり強化

- ・四季に合わせて加勢鳥の姿で本行事ルート内のスポットを回ってゴミ拾いをしました。
- ・上山市の一大イベント「スマイルプロジェクト」に参加しゴミ拾い、演舞を行い会場を盛り上げました。

【事業の成果及び今後の展望】

事業の成果

- ・デザイン面の向上で加勢鳥に興味を持って参加してもらい、保存会入会後に加勢鳥の現状（ケンダイ製作

者不在や先代の思いや歴史）を理解してもらう。現在、ケンダイやワラジ製作に興味を持っている会員もいるがその数が増えることにより保存会内に学びのグループが確立でき継承が強固なものとなる。

- ・今年はポスター効果があり、たくさんの方が観にこられました。天気やコロナ規制の緩和もあり効果は2倍以上あったと思います。ポスターポストカードが足りない状態になったり、一般のお客様からポスターを買いたいなど嬉しいお言葉をいただきました。

今後の展望

- ・デザイン面の向上で加勢鳥に興味を持って参加してもらい、保存会入会後に加勢鳥の現状（ケンダイ製作者不在や先代の思いや歴史）を理解してもらう。現在、ケンダイやワラジ製作に興味を持っている会員もいるがその数が増えることにより保存会内に学びのグループが確立でき継承が強固なものとなる。
- ・ゴミ拾いや学校訪問により加勢鳥というものを身近に感じてもらい、自分達の地元の文化として認知してもらう。高校生ボランティア団体出身者が保存会にいますので、そこから高校生と繋がり今後繋げていきます。